



SOMPO ホールディングス  
損保ジャパン日本興亜

JICA途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査  
(旧:協力準備調査(BOPビジネス連携促進)) を活用した

## インドネシアにおける「天候インデックス保険」の取り組み

---



2017年9月20日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

企業商品業務部リスクソリューショングループ

郷原 健

# 1. 当グループ、当社の紹介

# 2. 当グループのSDGsへの取り組み

# 3. 天候インデックス保険の概要

# 4. インドネシアにおける天候インデックス保険の取り組み

( JICAの途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査(旧:協力準備調査(BOPビジネス連携促進))を活用)

# 5. まとめ



# SOMPOホールディングス株式会社

(英文名称 : SOMPO Holdings, Inc.)

東京都新宿区西新宿1-26-1



**SOMPO**  
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

資本金	1,000億円
設立	2010年4月1日
事業内容	損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに附帯する業務

## 国内損保事業

■ 損保ジャパン日本興亜 ■ セゾン自動車火災  
■ そんぼ24 ■ 損保ジャパン日本興亜DC証券

## 国内生保事業

■ 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命

## 介護・ヘルスケア事業

■ SOMPOケア ■ シダー  
■ SOMPOケアメッセージ ■ SOMPOリスクアマネジメント  
■ SOMPOケアネクスト

## 海外保険事業

■ 海外グループ会社  
32か国・地域、211都市※において海外保険事業展開  
※2016年3月31日現在

## 戦略事業

■ 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント  
■ プライムアシスタンス  
■ プロダクト・ワランティ・ジャパン  
■ フレッシュハウス

2016年10月1日付で損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社の商号を「SOMPOホールディングス株式会社」に変更し、「安心・安全・健康」の「SOMPO」ブランドの強化を図っていきます。

# 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

(英文名称 : Sompo Japan Nipponkoa Insurance Inc.)



東京都新宿区西新宿1-26-1  
 ■代表電話番号 03-3349-3111  
 ■URL <http://www.sjnk.co.jp/>



損保ジャパン日本興亜

創業: 1888年10月

資本金	700億円
正味収入保険料	2兆2,184億円(2015年度)
社員数	26,380人
代理店数	62,238店
国内拠点※	支店・営業部—126 営業課・支社・営業所—559 保険金サービス拠点—308
海外拠点	32か国・地域、211都市

2016年3月31日現在

※2016年4月1日現在

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 「SDG Compass: SDGsの企業行動指針 – SDGsを企業はどう活用するか –」

〈企業への指針:5つのステップ〉

- ① SDGsを理解する
- ② 優先課題を決定する
- ③ 目標を設定する
- ④ 経営へ統合する
- ⑤ 報告とコミュニケーションを行う



GRI, UNGC, WBCSD

## SDGsに取り組む当グループの5つのステップ

① SDGsの理解

② 重点課題の見直し

③ CSR-KPI(重要業績評価指標)の設定

④ 新たな重点課題に沿った取組推進、パートナーシップの構築

⑤ 情報開示およびコミュニケーション

経営理念である「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスを提供し、社会に貢献するため、5つを特定しました。また、重点課題に取り組むにあたって、当グループの強みを生かすアプローチ方法として3つを特定しました。

## 5つの重点課題

### 1 防災・減災への取組み

防災・減災に資する商品・サービスなどの提供やさまざまな組織との協働プロジェクトを展開し、人々が安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献している。

# Weather Index Insurance 【天候インデックス保険】

ニティ・社会の実現に貢献している。

### 5 ダイバーシティの推進・啓発

基本的人権を尊重し、多様な個性を認め、ダイバーシティを推進することで、社員を含めたステークホルダーが活躍できる社会の実現に貢献している。

## 3つの重点アプローチ

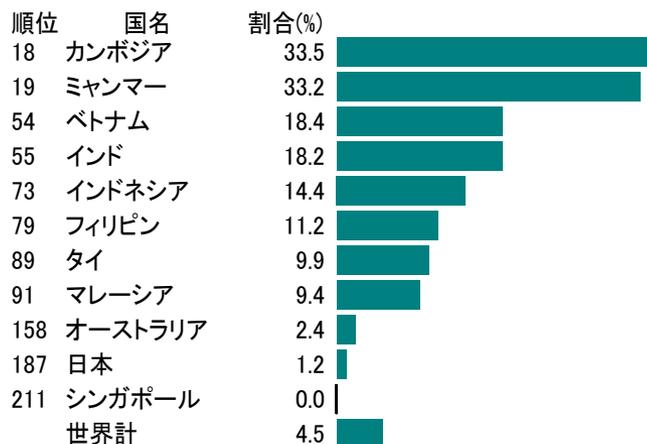
- 1 金融機能やデジタル技術などを活かした革新的な商品・サービスの提供
- 2 人材育成を意識したNPO/NGOなどをはじめとするさまざまなステークホルダーとの連携
- 3 継続的に支援し、培ってきた文化・芸術を通じた取組み

## 気候変動による影響

- 気候変動の影響によって、今後、**極端な気象災害(干ばつ、洪水など)**が増加することが危惧されている。
- 気候変動の影響を受けやすい産業の一つとして**“農業”**が挙げられる。

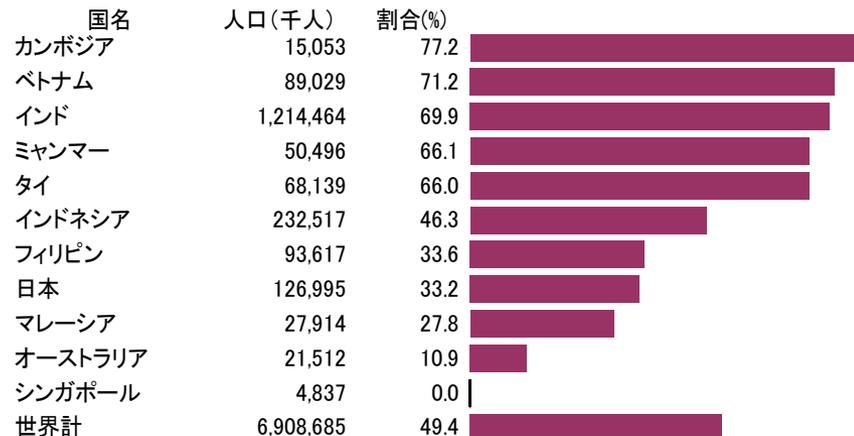
## 東南アジアにおける農業と気候変動に対する備え

### 農業生産額がGDPに占める割合(2013年)



出典: 国連 (United Nations Statistics Division)

### 人口に占める農村人口の割合(2010)



出典: 世界食料農業白書2010-11

- 気候変動に対する対応策として、**緩和策 (Mitigation)**と**適応策 (Adaptation)**がある。
- 近年、**緩和策**だけでは待った無しの状況にあり、**適応策**が注目されている。
- 東南アジアの農業に対する**適応策**として、**天候インデックス保険の活用**が挙げられる。

# 天候インデックス保険の特徴

## 天候インデックス保険とは

- 損害と関係がある、**天候指標**(気温や降水量など)を定め、それが**事前に定めた条件を満たした場合**に、**定額の保険金**が支払われる保険。
- 実際の損害とは関係なく、天候指標ベースでの保険金支払いとなるため、**保険金支払いの際に損害調査を要しない**。

### 特長

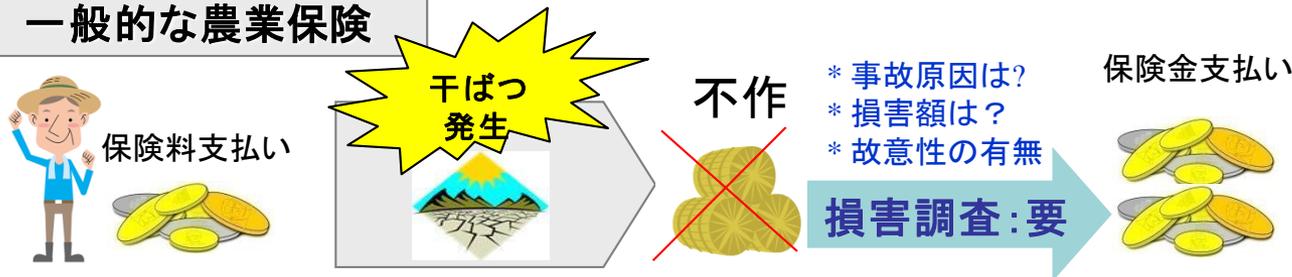
**早期の保険金受取が可能**

**保険の内容がシンプル**

保険に馴染みが無い途上国の農家にも受け入れられ易い。

## 比較：一般的な農業保険と天候インデックス保険（干ばつ事故の例）

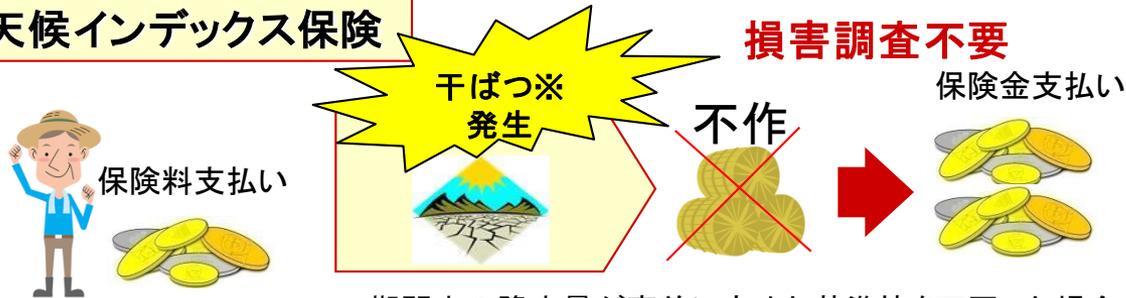
### 一般的な農業保険



### 損害調査: 要

- 1) 保険金支払いまでに時間が掛かる。
- 2) 公平・中立な損害調査を行うためにコストが掛かる。

### 天候インデックス保険



### 損害調査: 不要

- 1) 迅速な保険金支払いが可能。
- 2) 運用コストが安い。  
(保険料を安くできる。)

\*期間中の降水量が事前に定めた基準値を下回った場合

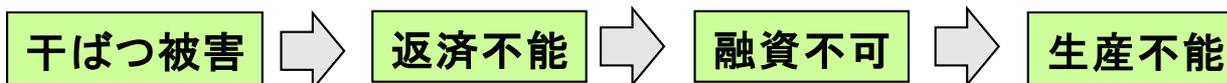


## 保険の開発経緯

- ✓ 2007年、JBIC(国際協力銀行)主催で「環境問題における民活(保険)活用と国際協力銀行の協力のあり方」研究会発足し、損保ジャパン日本興亜グループも研究会に参加
- ✓ 研究会において気候変動に対する適応策の一つとして、天候インデックス保険が取り上げられ、その実証プロジェクトとして、タイの東北部で天候インデックス保険の開発・販売を検討
- ✓ タイの東北部が選ばれた理由は、「農業が主要な産業である、灌漑設備の未整備、気象データの十分な蓄積、貧困層が多く保険の効果が大きい」など

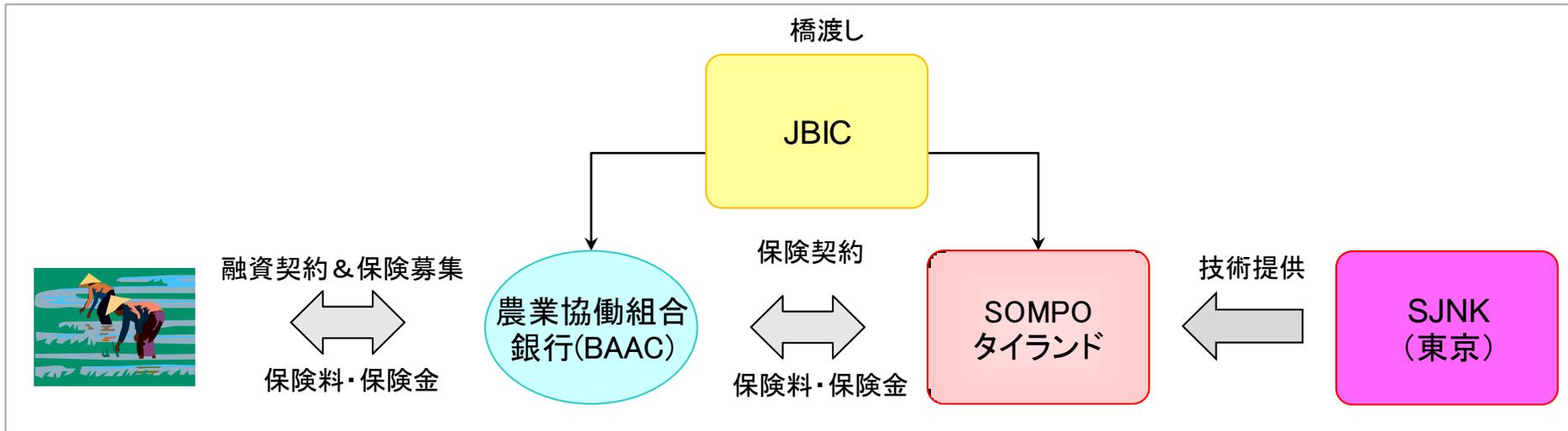
## タイ東北部における稲作の課題

- ✓ 稲作が非常に盛んな地域であるが、灌漑設備が不十分。
- ✓ 農家は生産のために、毎年、農業銀行から農業融資を受けている。
- ✓ 極端な干ばつが発生すると、農家は貧困スパイラルからの脱却が困難。





## 保険の提供スキーム



## 保険の商品内容

観測期間	7月(1ヶ月間)	8~9月(2ヶ月間)
インデックス	累積降水量	累積降水量
基準値	Early Drought	Drought / Sever Drought
支払額	ローン元本の10%	ローン元本の15% / ローン元本の40%



保険期間: 7月~9月(3ヶ月間: 稲の成長期に該当)

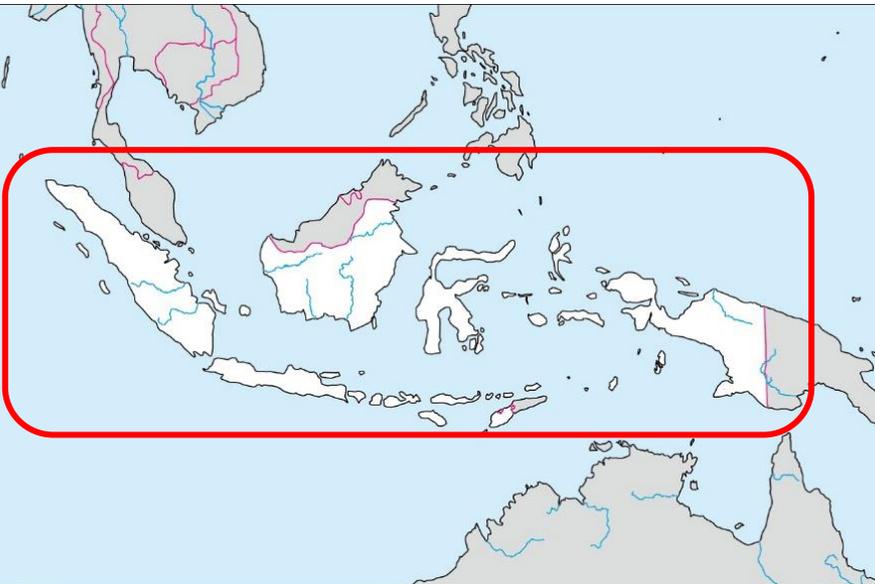


## Indonesia

Population: 249 million (2013)

Size: 1,890,000 km<sup>2</sup>

Main Crops: Oil palm, **rice**, cassava, sugar cane, etc



### Estimated Rice Production by Country

(Values in Metric Tons)

1. China: 145,000,000
2. India: 106,000,000
3. Indonesia: 37,000,000
4. Bangladesh: 34,700,000
5. Vietnam: 28,100,000
6. Thailand: 19,500,000

By USDA : <https://www.worldriceproduction.com/>

## プロジェクト開始前の取り組み (FY2013～)

2013

JICA主催の会議で、インドネシア政府に対して、天候インデックス保険の紹介  
@ジャカルタ (BAPPENAS, MOF, MOA, BMKG, OJK などが出席)

2014

インドネシア政府に対して、天候インデックス保険の説明  
@東京 (JICAアテンドのもとBAPPENAS, MOA などが出席)

天候インデックス保険のプロジェクト開始

プロジェクトを開始を妨げる課題

- 開発コストの捻出（現地調査など）
- 現地政府とのコネクションがない。
- 農村部など地方域に関する情報が少ない。
- 社内調整（部門・グループ間の協力を得ること）



**JICAの協力準備調査（BOPビジネス連携促進）を活用**

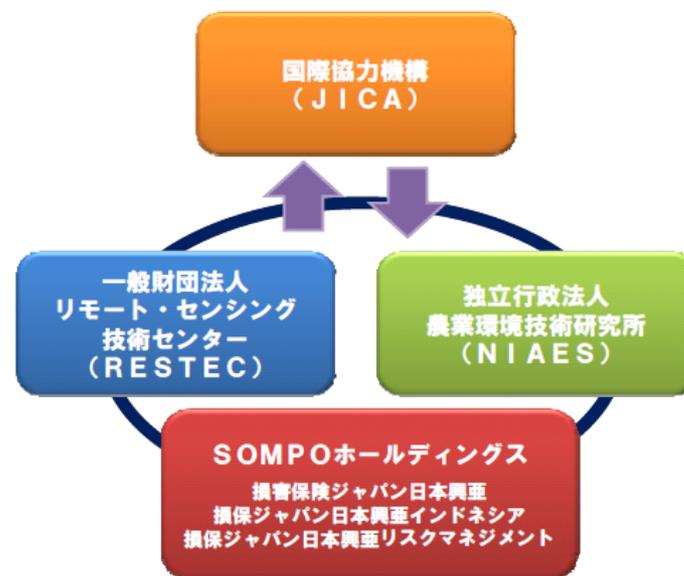
- 開発コストの捻出（現地調査など）
  - ⇒ 調査費用の支援
- 現地政府とのコネクションがない。
  - ⇒ 現地政府キーマンの紹介
- 農村部など地方域に関する情報が少ない。
  - ⇒ JICAが保有する情報の共有
- 社内調整（部門・グループ間の協力を得ること）
  - ⇒ 印象が良い。（「JICA支援のプロジェクト」）

- 2015年3月6日にJICAの「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」に「インドネシアにおける農業従事者向け『天候インデックス保険』導入準備調査」を提案し、採択が決定
- RESTECおよびNIAESと共同で提案し、2018年度中の販売開始を目指している。

## インドネシアで農業従事者向け『天候インデックス保険』導入準備調査をスタート

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社(社長: 櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」)の子会社である損害保険ジャパン日本興亜株式会社(以下「損保ジャパン日本興亜」)、PT. Asuransi Sompo Japan Nipponkoa Indonesia(以下「損保ジャパン日本興亜インドネシア」)および損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社(以下「損保ジャパン日本興亜リスク」)が提案した、インドネシアにおける農業従事者向け『天候インデックス保険』\*1 導入準備調査が、独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」)の「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」\*2に採択されました。

本件は一般財団法人リモート・センシング技術センター\*3(以下「RESTEC」)および独立行政法人農業環境技術研究所\*4(以下「NIAES」)と共同で提案したものであり、今後はJICAの支援を得ながら、2018年度中の販売開始を目指します。



ニュースリリース一部抜粋(当社HP)

[http://www.sompo-hd.com/~media/hd/files/news/2015/20150306\\_2.pdf](http://www.sompo-hd.com/~media/hd/files/news/2015/20150306_2.pdf)

## これまでの取り組み (FY2013～)

2013

JICA主催の会議で、インドネシア政府に対して、天候インデックス保険の紹介  
@ジャカルタ (BAPPENAS, MOF, MOA, BMKG, OJK などが出席)

2014

インドネシア政府に対して、天候インデックス保険の説明  
@東京 (JICAアテンドのもとBAPPENAS, MOA などが出席)

2015

JICAの「BOPビジネス連携促進」採択

- ・現地調査
- ・政府とのディスカッション

2016

ドライランの実施

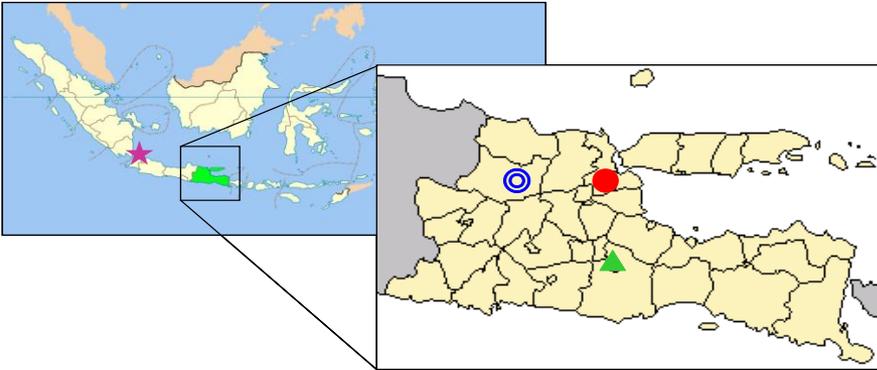
2017

BMKGとのMOU締結  
BMKG職員研修 @東京

商品限定販売(予定)



# インドネシアにおける天候インデックス保険③



KUISIONER

Tanggal: \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_ 2016      Alamat: \_\_\_\_\_  
 Nama: \_\_\_\_\_      Jenis Kelamin:  Pria  Wanita  
 Umur:  <19,  20-24,  25-29,  30-34,  35-39,  40-44,  45-49,  50+

Bagian A: Asuransi Indeks Cuaca

1. Apakah anda mengerti tentang konsep Asuransi Indeks Cuaca?  
 Ya,  Tidak  
 Jika tidak, jelaskan kenapa: \_\_\_\_\_

2. Apakah anda ingin membeli Asuransi Indeks Cuaca?  
 Ya,  Tidak  
 Jika tidak, jelaskan kenapa: \_\_\_\_\_

3. Jika iya, berapa banyak yang ingin anda beli?  
 1,  2,  3,  4,  5,  Lebih dari 5

Bagian B: Informasi Dasar Peserta

1. Apa pekerjaan anda?  
 Petani  
 Petani,  Buruh tani.  
 Petani sebagai pekerjaan utama,  Petani sebagai pekerjaan sampingan  
 Penyuluh Pertanian,  Pemilik Lahan,  Pemilik Toko,  Ibu rumah tangga,  
 Lainnya ( \_\_\_\_\_ )

2. Sumber utama pendapatan:  
 Bertani,  Lainnya ( \_\_\_\_\_ )

3. Apakah anda termasuk dalam kelompok tani?  
 Ya,  Tidak  
 Jika Ya, Jelaskan: \_\_\_\_\_

4. Apakah anda memiliki rekening bank?  
 Ya,  Tidak      Jika Ya, Bank apa: \_\_\_\_\_

5. Berapa kira-kira pendapatan keluarga anda? (IDR)  
 Bulanan: \_\_\_\_\_

## ◀ 農家向けに行ったニーズ調査アンケート票

アンケートでは、以下の設問に関する設問を設けている。

### <アンケート項目>

- ①天候インデックス保険への関心有無  
 …保険に加入したいか、加入する場合何口加入したいか
- ②農家の属性  
 …職業、組合への加入、収入、銀行口座の有無 他
- ③農業情報  
 …農業をする上でのリスク、お金を借りたことがあるか
- ④保険への認識  
 …保険に加入したことがあるか

# インドネシアにおける天候インデックス保険⑤

Jaminan Asuransi	Uang Pertanggungan	Ketentuan
<p><b>Asuransi Indeks Cuaca</b></p> <p>Membelian perlindungan berupa kompensasi kepada petani akibat kekurangan suhu tanah total curah hujan berdasarkan data BMKG pada area/daerah tertentu yang diaman lebih rendah atau sama dengan nilai ambang batas yang ditetapkan seperti yang tertera dalam ketentuan asuransi (75 mm), terhitung dari kondisi atau hasil panen.</p> <p>Informasi indeks cuaca bulan dapat dilihat di:  <a href="http://mco.jakarta.kab.go.id/indeks-kecurahan-hujan/">http://mco.jakarta.kab.go.id/indeks-kecurahan-hujan/</a>                      *jarkab.go.id</p>	<p><b>Rp. 500,000/Aplikasi*</b></p> <p>Catatan:                      Minimal 10 aplikasi per 1 Hektar (Ha)</p> <p><b>Premi</b></p> <p><b>Rp. 50,000/Aplikasi</b></p> <p><b>Pembayaran Premi</b></p>	<p>Apabila dalam masa pertanggungan asuransi, BMKG menginformasikan bahwa indeks curah hujan terendah di bawah nilai ambang batas, maka PT Asuransi Sampo Jepang Nipponkoa Indonesia atau PT Asuransi Central Asia akan mengirimkan kompensasi kepada Tertanggung sebesar Limit Uang Pertanggungan.</p> <p>Adapun beberapa persyaratan kompensasi sebagai berikut:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Kompensasi akan diberikan hanya kepada ahli rumpun curah hujan tidak memperhitungkan besaran tanaman</li> <li>Kompensasi akan diberikan hanya untuk dalam suatu periode pertanggungan (ke total data curah hujan selama periode pertanggungan tidak rendah atau sama dengan indeks curah hujan yang tertera di dalam polis, dan kemudian pengunggahan akan tertunda dari kewajiban pengunggahan lainnya</li> <li>Pertanggung harus menerima premi sebelum periode asuransi dimulai</li> </ul> <p>Batasan Asuransi:</p>
<p><b>Periode Pertanggungan</b></p> <p>Periode pertanggungan sesuai yang tertera di dalam surat/kepolisian</p>	<p>Pemenuhan premi sebelum periode asuransi dimulai dengan cara membayar premi melalui rekening debit/cek yang diunggah oleh PT Asuransi Sampo Jepang Nipponkoa Indonesia atau PT Asuransi Central Asia, baik secara tunai atau non-tunai, yang berlaku di Indonesia</p>	

## ▲ 保険商品のパンフレット

## ▶ 天候インデックス保険の仕組みを説明したポスター

- 【日時】 2016年9月15日（木） 9:00～11:00（説明9:30～、質疑10:00～）
- 【場所】 Bojonegoro県Ngasem郡Setren村の集会所
- 【参加者】 Setren村の農家35名、Penyuluh2名
- 【概要】
  - ・天候インデックス保険の商品概要について説明。
  - ・農家には、アンケートおよび保険加入申込書を記入頂く。



▲ Setren村のPenyuluh、Mr. Suwonoのご挨拶



▲ 参加頂いた農家のみなさん

## BMKGとのMOU締結

- 2017年5月にインドネシアの気象気候地球物理庁と、天候インデックス保険の運用に向けたMOUを締結。
- 気象データの提供だけでなく、天候インデックス保険に対するトレーニングも実施。



### **Press Release & MoU Signing Ceremony BMKG & Sampo Insurance Indonesia**

**Attended by 45 media and journalists**

**Final coordination  
with BMKG**



2 Locations of selling:  
**BOJONEGORO & LOMBOK**

*Will expand the area of projects in the future based on commitment with BMKG*

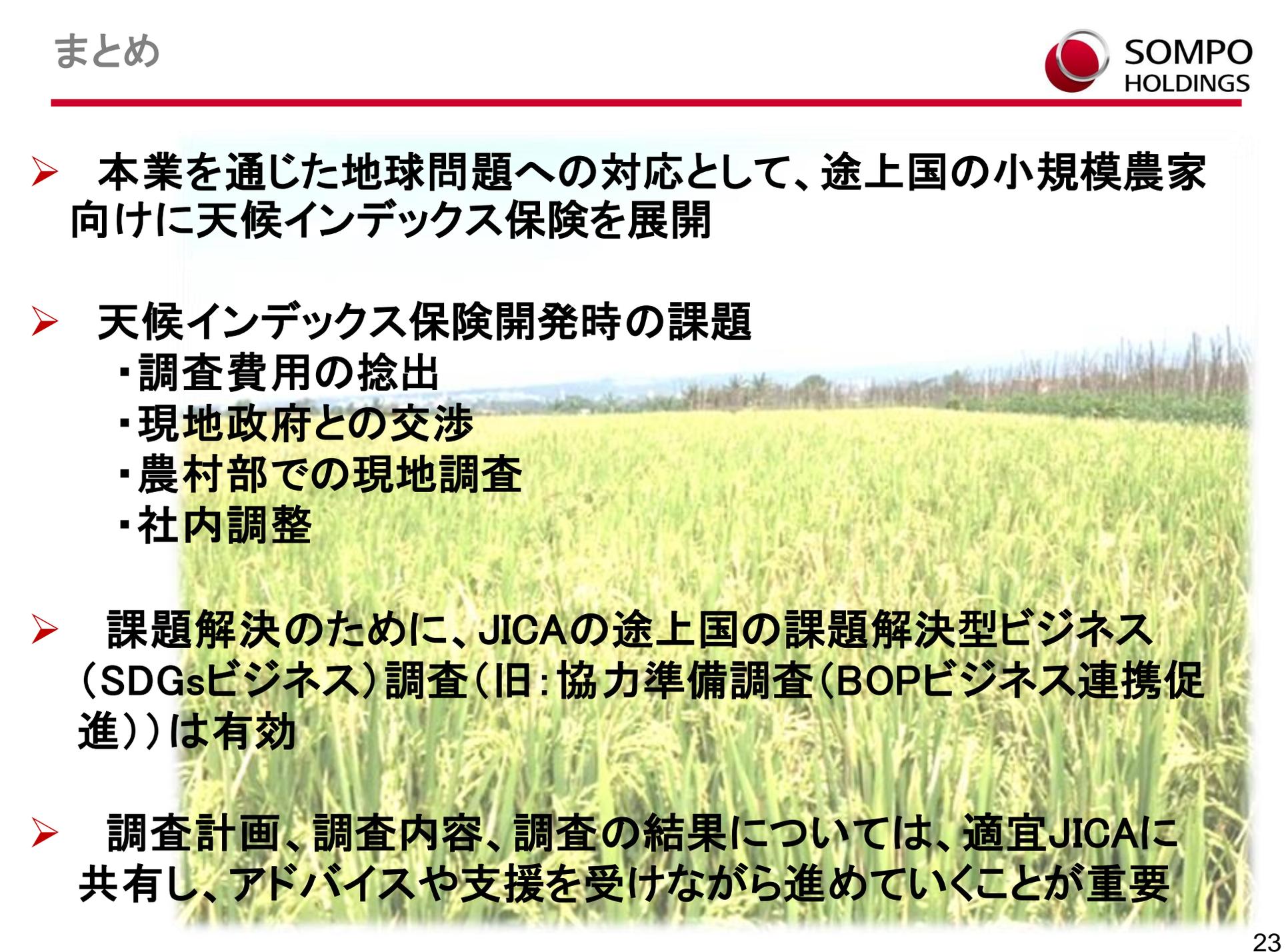


Target Crops = **Paddy Rice**

- The top 3 producers of rice/paddy.
- 70% of harvest land is from Paddy field.
- Sompo's experience on weather index insurance for rice farmers in Thailand.

Trigger = **Drought**

- Drought is one of the serious disaster, and measurable by Meteorological observation.

- 
- 本業を通じた地球問題への対応として、途上国の小規模農家向けに天候インデックス保険を展開
  - 天候インデックス保険開発時の課題
    - 調査費用の捻出
    - 現地政府との交渉
    - 農村部での現地調査
    - 社内調整
  - 課題解決のために、JICAの途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査（旧：協力準備調査（BOPビジネス連携促進））は有効
  - 調査計画、調査内容、調査の結果については、適宜JICAに共有し、アドバイスや支援を受けながら進めていくことが重要